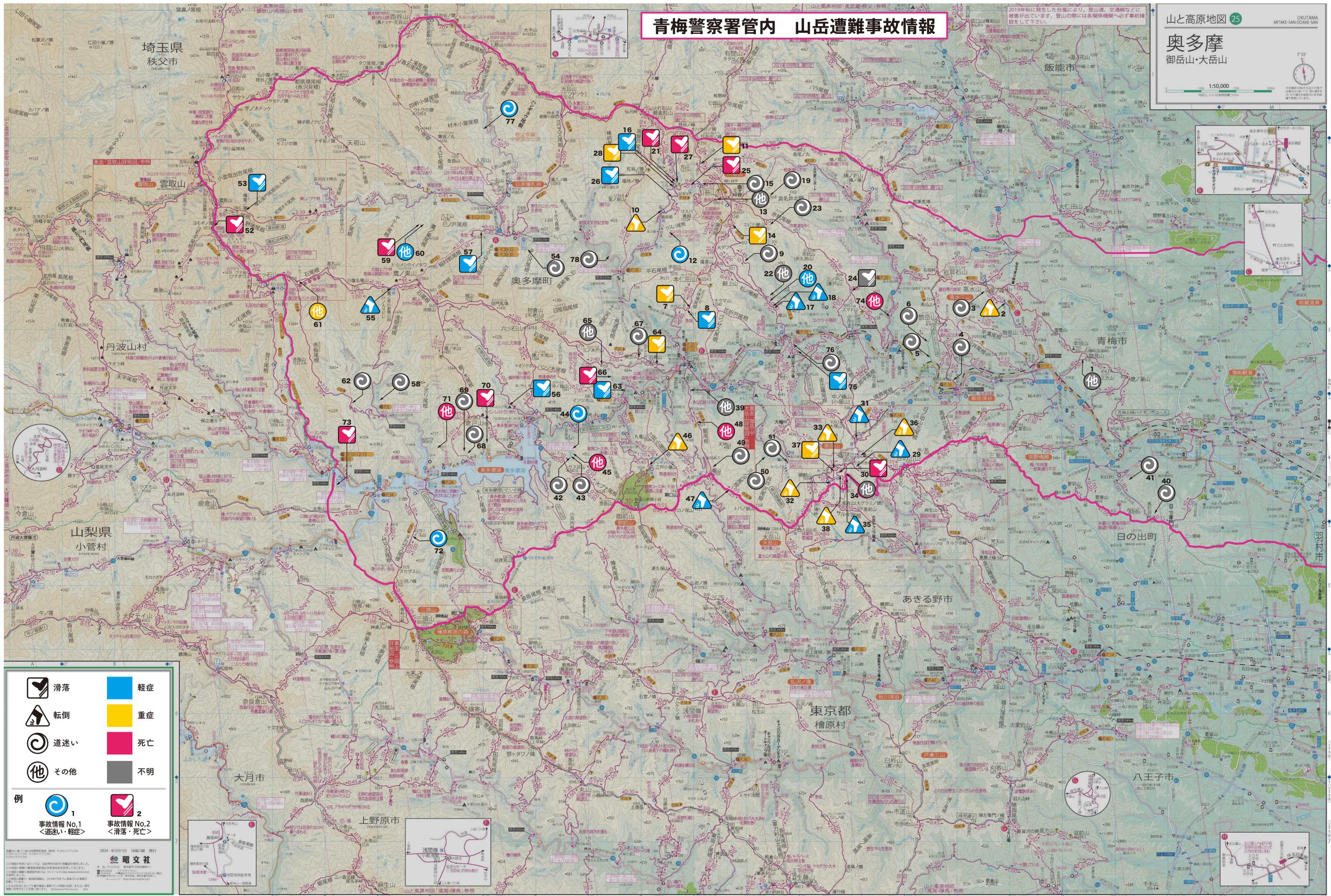


青梅警察署管内 山岳遭難事故情報

山と高原地図 25
 奥多摩
 御岳山・大岳山
 1:50,000
 7.55°



	滑落		軽症
	転倒		重症
	道迷い		死亡
	その他		不明

	1		2
事故情報 No.1	<道迷い・軽症>	事故情報 No.2	<滑落・死亡>

2024年3月1日 16版(1頁) 発行
 昭文社
 03-5561-0111
 www.shoin.co.jp

第8回 山の日全国大会 2024 TOKYO 記念



奥多摩 トレイル 安全データマップ 2024



作成
【奥多摩山岳遭難対策連絡会】
東京都環境局 東京都レジャー
東京府奥多摩ビジターセンター
青箱警備隊 山岳救助隊
奥多摩消防山岳救助隊
環境省奥多摩自然保護官事務所
奥多摩観光光業内所
公益社団法人東京山岳連盟 (制作)



スポーツ振興くじ助成事業
この広報誌はスポーツ振興くじ助成を受けて作成しています

02 山岳遭難事故防止の基本

奥多摩三大事故パターン・季節ごとの事故防止策

事故防止の基本3原則

計画：体力と経験にあったコース選択、事故発生状況確認
チェック：装備、食料、体調、天候
リスク管理：計画書を作成し共有

パターン1：道迷い

奥多摩の山は登山道以外の仕事道(巡視路、林業、ワサビ田)やけもの道などがあり、特に下りで登山道を外れて道迷いやすく、さらに足元の悪い斜面で転落滑落事故が起きていることに注意が必要です。

事前準備
●コース情報を調べる
●地図、磁石を使う
●ヘッドランプなど装備を用意する

迷ってしまったら...
●わかる位置まで戻る
●危険な場合は動かない

パターン2：転倒 / パターン3：滑落

奥多摩は急な登降部が多く、急斜面での転倒は長い距離の滑落となり、時には転落事故へつながる危険があることを意識してください。

事前準備
●足腰を鍛え、体力をつける
●適切なコース選択=所要時間、登下降
●標高差

現地では...
●足元に注意
●自分のペースで歩く

その他、季節毎の事故対策

暑い時期 → 熱中症・脱水予防の水分補給、日照対策、水分補給
寒い時期 → 防寒着、暖かい飲み物の用意
季節と足元への注意 → 夏秋のハチ対策=香水、黄黒の服はNG! 秋の落ち葉、冬は雪、凍結

【配布元】

04 安全登山の準備とチェック

計画

①コース内容、所要時間、難易度危険箇所確認
【推奨】
(1)日没2時間前、バスなど利用可能な下山時刻から出発時間を逆算
(2)退却判断時刻・コース想定
check point! 技術・体力に合ったコース選択か?
②メンバーの体力、技術との適合
(1)行動時間、登下降の標高差が体力に合っているか?
(2)技術、経験にあったコースかの判断、特に雪上行動の場合など

装備・食料プラン

※リスト参照
【必携】
地図・磁石=スマホアプリも利用可能だが予備電源は必須!
防具/雨・風、季節に合わせた暑さ・寒さ対策、ヘッドランプ

身体・フィールドコンディション

【体調】
体調、睡眠状況。疲れがないか?
【天気予報】
雨・風は行動を難しくし、夏の高温、冬の低温は体調にも悪影響
【山の状態】 → 奥多摩など各ビジターセンターにお問合せください
大雨や降雪の影響、紅葉後の落ち葉は滑りやすい

計画書作りと届出

①山域、山
②日時
③コース
④氏名、年齢、性別、住所、電話番号
リーダー
メンバー
⑤装備・食料
⑥緊急連絡先
⑦登山計画書提出・共有先
提出先
共有者

Compass
山と自然ネットワークコンパス
国内全山域の登山届が出来ます
コンパスはWebとスマホアプリで
山岳安全対策ネットワーク
https://www.mt-compass.com/iwate.php



01 安全登山の基本と情報

事故発生を防ぐための事前準備
事故が起きた場合への対応

事故が起きたその時のために
事前に確認しておくべき項目と
もしも事故が起きてしまった時の対応を説明します

1. 地形図と磁石の利用

行動の基本は事前に予定コースの情報を確認、行動ルートを地図上で確認すること。普段の街歩きから習慣づけることで山での行動に役立ちます



2. 安全のための事前チェックと情報共有

- 計画内容を確認
= 計画に無理がないか? (体力・経験・メンバー)
- 計画書の共有と確認
= 計画書の提出を済ませたか? 家族などにも共有したか?
- 天気予報の確認
= 該当地域もしくは山専門の天気予報を確認
- コース・季節にあった装備、食料、水の用意
= 急な天候変化に対応できる装備、非常食、水分補給ポイントの事前確認
- 防具/風、雨、暑さ、寒さ
= 天候悪化と非常時への備え
- 地図、磁石、携帯電話+予備バッテリー
= 現在地の確認、事故発生時に通報・情報共有ができるか?
- 山岳遭難事故の発生状況、リスクを把握する

3. 救助要請通報の事前準備

緊急時に位置情報をアプリ等で確認
→ 救助要請 #110(全般)
#119(怪我・病気の場合)

通報QR



03 山岳遭難ピンチへの対応

事前に確認すべきこと、そして事故時の対応を知らう

1. 最初に、落ち着いて状況確認

道迷いの場合
▶ 現在地確認、戻れるなら来た道に戻る
▶ 行動困難で危険な場所の場合は救助要請が必要か判断
転倒・転落・滑落
▶ 怪我・病気の状態、応急処置
病気・体調不良の場合
▶ 行動可能/不可能を判断=救助要請が必要か判断

2. 応急処置

負傷出血 ▶ タオルなどで圧迫止血、傷口を清潔にして、包帯や清潔な布で覆う
骨折、捻挫 ▶ 木の枝などを副木としてテーピングなどで固定
脱水症状 = 口渇・頭痛・目まい・痙攣
熱中症 = 高熱・意識混濁・息切れ・吐き気
▶ 日陰へ、首筋・わきに濡れタオル
▶ 水分補給、経口補水液などがあればなお良い
▶ 意識が朦朧、受け応えができない場合は救助要請
動物や虫・蛇などによる咬傷・刺傷
▶ 受傷部分を洗浄し、清潔な布で覆う
▶ 腫れや痛みがある場合は可能な限り冷やす
▶ アナフィラキシーショック等の兆候がある場合は行動を中止、救助の要否を判断、下山し医療機関で受診すること
低体温症 = 震え、疲労感、意識低下・言語もつれ
▶ 風を避けられる場所に移動し、保温・加温する
▶ 服が濡れている場合は乾いた服に替える
▶ 温かい飲み物・食料摂取、ツェルトなどで保温
→ 回復しない場合は救助を要請する

3. 救助要請

①判断: 行動 パーティ内で対応不可、症状が重篤な場合
②携帯感度有り → 緊急連絡#110、#119
救助要請情報 = 事故者、事故状況、所在地緯度経度
③携帯感度無し = メンバーまたは他パーティに通報を依頼
救助要請情報 = 事故者、事故状況、所在地緯度経度
④救助要請手段無し = 携帯/無し・電池切れ・不感地帯・行動不可・通報依頼不可
家族等からの捜索依頼待ちとなる。登山計画書の共有が重要。
登山計画が不明の場合、特に登山道から外れて道迷いの場合は捜索に時間がかかり救助収容が遅れる。
⑤捜索救助待ち: ビバークし、食料・水を長く持たせること。

05 登山装備リスト

★このリストは日帰りのハイキングや縦走登山、そして食事・寝具が提供される山小屋利用日での山行を想定したものです。
★テント泊の場合やロープを使用するクライミングや沢登りなどの場合には、それぞれ専門の装備が必要になります。

◎必ず持参 □要保温性 ▲状況・条件により ◇あれば便利

装備名	無雪期	積雪期	装備名	無雪期	積雪期
ウェア・足回り	◎	◎	基本装備		
長袖シャツ	◎	◎	ザック	◎	◎
半袖シャツ	◎	△	サブザック	△	△
パンツ	◎	◎	ザックカバー	△	△
保温着	△	◎	防水袋	◎	◎
雨具上下	◎	◎	ストック	◎	◎
靴下	◎	◎	ビッケル	-	△
手袋	◎	◎	飲料水	◎	◎
アンダーウェア上下	◎	◎	保温ボトル	◎	◎
着替え・予備	◎	◎	ヘッドランプ	◎	◎
帽子	◎	◎	予備電池	◎	◎
登山用シューズ	◎	◎	地図 (スマホ利用可)	◎	◎
靴紐予備	◎	◎	磁石 (スマホ利用可)	◎	◎
軽アイゼン	△	△	GPS (スマホ利用可)	◎	◎
スパッツ	△	△	GPS (スマホ利用可)	◎	◎
			スマホアプリの地図、磁石など利用可能だが、通常の地図、磁石との併用がお勧め。		
基本携行品			ライター	◎	◇
財布・カード等	◎	◎	ナイフ	◎	◇
通称免許	◎	◎	サングラス	◎	◇
マイカード/健康保険証	◎	◎	日焼け止め	◎	△
携帯電話	◎	◎	携帯トイレ	△	△
予備バッテリー	◎	◎	非常用具		
スマホはライト、地図、磁石など多能的で便利だが、電池切れは致命的。予備電源は必携。			ツェルト・非常用シート	◎	◇
			炊事コンロ	◎	◇
計画書 (写し)	◎	◎	炊食用クッカー	△	△
筆記用具	◎	◎	非常食	△	△
救急用品 (備手当て)	◎	◎	ガムテープ / テープ	◎	◇
同 (内服薬)	◎	◎	季節の用具 (例)		
同 (持病薬)	◎	◎	(夏)		
ちり紙	◎	◎	(冬)		
ゴミ袋	◎	◎	虫除け・虫刺され	◇	◇
傘	△	△	保温カイロ	◎	◎

【道迷い防止】
現在地、目的地確認のための地図と磁石、そして夕暮れ時の道迷いを防ぐためのヘッドランプは必携

【転倒、転落滑落】
午後、疲労が蓄積した下山時、またヘッドランプがなく、夕暮れ時に足元が確認できないことなどで転倒、転落滑落事故が多く発生

【事故・トラブル発生時】
携帯位置情報確認 (GPS) アプリで位置確認し、救助要請、怪我・具合が悪い場合は応急処置

06 奥多摩情報

登山道情報

奥多摩ビジターセンター
https://www.ces-net.jp/okutamavc/
【奥多摩・公共交通機関】
JR東日本 お問合せセンター(列車時刻、運賃・料金、空席情報)
TEL:050-2016-1600
JR東日本 青梅線情報、五日市線情報
京王自動車 青梅営業所
西東京バス

奥多摩・道路情報

関係機関(検索ワード)
全国の高速道路交通サイト
奥多摩周遊道路通行情報

奥多摩・山小屋情報

雲取山荘 通年営業 テント泊可 TEL:0494-23-3338(午前9時~午後8時ころまで)
七ツ石小屋 通年営業 テント泊可 TEL:090-8815-1597(午前9時~午後4時)
三条の湯 通年営業 テント泊可 TEL:0428-88-0617

奥多摩・避難小屋について

奥多摩の避難小屋は緊急用です。避難時以外の使用はご遠慮ください。避難小屋近くには沢水がある場所がありますが、状況によっては使えない(枯れている)こともあります。水分はしっかりと確保して登山をしましょう。避難小屋に併設されているトイレはすべて汲み取り式となっています。またバーナーなどは設置されていません。

- ・雲取山避難小屋 場所:雲取山山頂から南に約100m、トイレあり
- ・鷹ノ巣避難小屋 場所:鷹ノ巣山山頂から西に約800m、トイレあり
- ・御前山避難小屋 場所:御前山山頂から東に約320m、トイレあり
- ・三頭山避難小屋 場所:三頭山西峰から南に約690m、トイレあり
- ・一杯水避難小屋 場所:天目山山頂から南に約600m、トイレあり
- ・吾谷山避難小屋 場所:吾谷山山頂から西に約560m、トイレあり

奥多摩は秩父多摩甲斐国立公園内にあり、テント泊は指定幕営地のみ可能です。避難小屋周辺での幕営はできません。

08 山岳遭難事故情報分析

(2023年1月1日~12月31日)

事故種類	場所	No.	日時	時間	山・エリア	経路	レベル	人数	性別	年齢	事故状況
青梅	1	8/12	9:50	青見山	◎	他	男	女	60		急に足がもつれ崖壁、行動不能に
高水三山	2	1/9	14:30	高水山	△	他	男	女	60		登り、浮き石で転倒滑り
エリア	3	12/10	13:05	高水山	◎	他	男	男	40		山頂周辺で道迷い、急斜面行動不能
	4	3/11	19:00	惣岳山	◎	他	男	女	60		三山縦走、眠くてライト無く行動不能
	5	10/7	16:15	惣岳山	◎	他	男	男	40		道迷いから日没になり不安で #110
	6	10/22	14:00	神尋山	◎	他	男	男	40		惣岳山に上る尾根上のピーク
本仁田	7	2/3	14:30	本仁田山	◎	他	男	男	60		鳩ノ巣へコブツカ山へ本仁田山 下山中
	8	11/12	17:25	本仁田山	◎	他	男	男	60		ライト無し、道迷い後滑落
川苔山	9	1/13	15:30	川苔山	◎	他	男	男	50		鳩ノ巣下山中、ライト無く行動不能に
周辺	10	1/28	13:15	川苔山	△	他	男	男	60		百舟ノ滝を見、下山中に転倒滑り
	11	2/25	5:27	川苔山	◎	他	男	男	70		道迷い滑落後、隣平泊、自力下山後連絡
	12	4/5	19:30	川苔山	◎	他	男	女	20		道迷い沢沿い下り日没行動不能
	13	4/29	17:00	川苔山	◎	他	男	女	20		下山途中マシカ溝溝、頂上戻り #110
	14	5/27	14:30	川苔山	◎	他	男	男	20		鳩ノ巣方面下山中滑落
	15	5/27	14:30	川苔山	◎	他	男	男	60		頂上から川奥橋下山中に道迷い
	16	6/10	13:30	川苔山	◎	他	男	男	50		頂上から川奥橋下山中30m滑落
	17	7/8	14:30	川苔山	△	他	男	女	50		鳩ノ巣下山中にスリップ転倒
	18	7/17	15:05	川苔山	◎	他	男	男	70		鳩ノ巣下山中に転倒右足負傷
	19	7/17	15:30	川苔山	◎	他	男	男	30		道迷い、沢下り尾根登り返す行動不能
	20	7/22	17:55	川苔山	◎	他	男	男	70		鳩ノ巣下山中足元のマズい足元歩行不可
	21	8/17	10:10	川苔山	◎	他	男	男	60		百舟ノ滝下流、物落としおろしと滑落
	22	9/9	14:30	川苔山	◎	他	男	男	60		高足踏み行動不能に
	23	6/17	15:00	川苔山	◎	他	男	男	60		赤根尾根下山道迷い急斜面行動不能
	24	11/8	17:15	川苔山	◎	他	男	男	40		赤根尾根下山
	25	10/25	不明	川苔山	◎	他	男	男	70		川奥橋へ下山中と推定
	26	11/3	12:00	川苔山	◎	他	男	男	20		川奥橋へ下山中滑落
	27	11/14	14:00	川苔山	◎	他	男	女	60		川奥橋へ下山中に50m滑落死亡
	28	12/16	13:00	川苔山	◎	他	男	男	50		川奥橋へ下山中5m滑落負傷と骨折
御前山	29	1/22	11:40	御前山	△	他	男	男	40		長尾平トレイル付近で転倒、足首捻挫
周辺	30	7/7	15:30	御前山	◎	死	男	男	70		経緯不明、10日に遺体発見
	31	7/30	12:00	御前山	△	他	男	男	60		ロープ越しに身を乗り出し7m滑落
	32	8/30	13:00	御前山	△	他	男	女	70		転倒スリップ右足指めも歩行困難
	33	9/3	12:20	御前山	◎	他	男	女	30		転倒し左足首負傷歩行困難
	34	9/17	9:30	御前山	◎	他	男	男	20		体調不良、休んでも回復せず救助要請
	35	9/30	13:30	御前山	△	他	男	男	50		立上り時に転倒し右足首負傷
	36	10/9	15:20	御前山	◎	他	男	男	40		ハセツレースで転倒、左下腿負傷
	37	11/15	9:40	御前山	◎	他	男	女	50		スリップし13m滑落、顔面負傷
	38	11/25	13:30	御前山	◎	他	男	女	20		崖転倒、左足負傷
	39	3/15	8:40	奥多摩山	◎	他	男	男	40		行動始めすぐに誤呼吸、行動不能
	40	10/17	17:00	赤坂つこ	◎	他	男	男	50		ライト無し道迷いで #110
	41	12/7	13:00	赤坂つこ	◎	他	男	男	40		道迷いで #110
大岳山	42	2/7	18:25	サズ沢山	◎	他	男	男	10		下山時ライト無く道迷い
御前山	43	7/21	14:05	サズ沢山	◎	他	男	男	50		下山時道迷い、急斜面で行動不能
周辺	44	11/4	17:00	サズ沢山	◎	他	男	女	30		ライト無く道迷い、翌朝に救助
	45	11/12	不明	サズ沢山	◎	死	男	男	40		道迷いから滑落死亡、15日発見
	46	7/2	13:15	御前山	◎	他	男	男	60		下山中、コンクリートで転倒、足首負傷
	47	4/3	15:30	籠山	△	他	男	女	50		ストック絡み転倒、足首捻挫
	48	4/5	不明	籠山	◎	他	男	男	60		原因不明
	49	12/11	17:50	籠山	◎	他	男	男	10		ライト無く、日没で行動不能
	50	7/18	19:00	大岳山	◎	他	男	男	60		17日道迷い、18日下山行動不能
	51	11/26	17:40	大岳山	◎	他	男	男	50		ライト無く、道迷い行動不能 #110
雲取山	52	12/2	15:00	小倉取山	◎	死	男	女	30		経緯不明、滑落死亡→通報など要確認
奥多摩	53	10/24	15:30	小倉取山	◎	他	男	女	40		4名分散、道迷い後滑落、翌日救助
周辺	54	2/8	15:15	鷹ノ巣山	◎	他	男	男	30		同行者ととはぐれ城山から日没下山
	55	5/5	?	鷹ノ巣山	△	他	男	男	10		右足負傷歩行不能、小屋から #11